

日 時 令和2年7月29日（水）4校時 生徒 1年A組 男子16名 女子15名 計31名
授業場 美術室 授業者 更科 結希

1. 題材名 身近な情景に潜むカメレオン

2. 題材の目標

- (1) 造形的な視点で情景を捉えることができ、発想・構想したことを基に、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 気になる情景の全体と部分の視点で構想を練り、美術に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 主題を追求し、創意工夫を重ねながら創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。

3. 評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知	造形的な特徴となる対象の全体や部分などで捉える視点について理解している。	発 身近な景色から気になる情景を発見して主題を生み出し、カメレオンを置く場所を選択するにあたり、全体と部分の視点で情景を捉え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく、身近な情景の中で、形や色の変化がある場所を基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
技	アクリル絵具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。		

4. 題材のデザイン（全4時間）

時	○学習活動 ・ 学習内容	手立て		評価の観点		
				知	思	態
1 (本時)	○身近な情景のどこに、カメレオンを隠すか決める。 ・ 全体と部分の両方の視点を持ち、情景を捉える ・ 形があることによって色分けされている箇所が見つけづらいことに着目し、情景を探す	II 造形的な視点に着目させるための資料を複数用意し、「なぜ、こちらの資料の方が見つけにくいのか」という問いから、本時に活用する視点の共有化を図る。	I 身近な情景を造形的な視点を理解するために、カメレオンの着色で隠す学習課題を設定する。その情景の中で最もカメレオンが隠れやすい場所を形や色の効果を踏まえて決定し、色の混色によってその効果を高めながら課題解決する学習過程とする。	○		○
2	○形や色の特徴に合わせて、環境の色に近接する色をつくり、カメレオンに着色する。 ・ 近付けたい色の混色する順番などを考える ・ 時間帯によって異なる色の違いについて考える	II 造形的な視点に着目させるために、資料を2つ用意し、「こちらの混色の方が最適な理由」という問いかけ、本時に活用する視点の共有化を図る。		○	○	
3					○	○
4	○他の人の気になる情景を探す ・ 形や色の変化とカメレオンの存在を総合的にとらえ、他者の表現について鑑賞する			○		○

5. 本時の展開（1／4）

(1) 本時の目標

身近な情景にカメレオンを潜ませるために、どのような場所が最適であるかを探し、形や色の特徴を見いだしながら、主題生成し構想を練る。

(2) 本時の展開

学習活動 「児童・生徒の姿」 ○教師の働きかけ・発問、△補助発問、□指示・説明	【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点
手立て 1 学習課題を把握する。 □学校にはこんな場所があります ○みなさんが「附中らしいな」「いいな」と身近に感じる景色はどこですか。 1年生の廊下 玄関の靴箱 階段を見上げたところ □この学校の中で、みなさんが「附中らしいな、いいな」と思う場所を見つけて、カメレオンを潜ませてみて下さい。 ○どこかに、カメレオンが潜んでいる。キミは見つけられるかな。  ○どちらが見つけにくいだろうか。（比較） II ○なぜ見つけにくいのだろう。 色が似ているから 文字が被さっているから 形が目がいくから △カメレオンの形が目がいかにしないようにするためには、どうしたらいいかな。 ○今回の学習で大切なことはなんだろうか。 色を近づけていくこと 形が目がいくように良い場所を選ぶこと 身近な景色を選ぶこと 2 自己の課題設定(主題生成)をする。 □校内の最適な場所を見つけて、ズームアウト・ズームインの視点で撮影してみよう。 校内探索 3 自己の課題(主題)の造形的な視点について振り返る ○みなさんが撮影してきた場所は、それぞれどのような形や色の特徴がありましたか 近づいてみて、ポスターなどが掲示されていて、色の違いがあった。 掲示板の文字の形と色の違いについて着目した。 □次の授業から、実際にカメレオン着色を始めてみよう。	・校内風景の様子をスライドで示し、イメージを持たせる ・単色のカメレオンと複数色のカメレオンを準備し、比較する 【共通事項】 ・形が目がいくから、見つけにくい。色合いが近いから見つけにくいに着目させる ・クロッキーへの記入 ◇形や色彩などの効果や全体や部分に着目して捉えることを理解しようとしている。【知】 ・zoomに接続し、状況を把握しながら、随時声かけをしていく。特に、部分への着目でよい選択をしている生徒、迷っている生徒等に問いかけをしていく。  ◇表現の工夫について考えようとしたりする意欲や態度を見取る 【態表】 ・ロイロノートにズームイン・アウトの撮影資料を提出 